

大切なお知らせ
なので、必ず
保護者の方に
渡してください

学びたい キミを 応援します。

みんなに知ってほしい 高校生等へのふたつの支援

高等学校等就学支援金 高校の授業料を支援します。

高校生等奨学給付金 高校の教科書費・教材費などを支援します。

※大学・専門学校での学びについても「給付型奨学金」があります。

[詳しくは裏面へ→](#)

文部科学省のwebサイトには、支給額など各制度の詳細や、各都道府県担当連絡先を掲載しています。



こうとうがっこうとう しゅうがくしえんきん

高等学校等就学支援金とは？

全国の約80%の生徒が利用している授業料支援※のしくみです。

※全日制高校の年間平均授業料（H30）：公立高校…約12万円 私立高校…約40万円

年収約910万円未満の世帯※が対象

※住民税所得割額50万7000円未満の世帯

学校種：高等学校、特別支援学校（高等部）、高等専門学校（1～3年生）など

年間約12～30万円を支給

学校の種類や所得の状況によって金額が変わります（下表参照）。

お申し込みは学校へ

入学時の4月など手続きが必要な時期に学校から案内があります。必ず確認してください。

こうこうせいとう しょうがくきゅうふきん

高校生等奨学給付金とは？

教科書費・教材費など、授業料以外の教育費支援のしくみです。

生活保護世帯、住民税所得割非課税の世帯※が対象

※年収約270万円未満の世帯

学校種：高等学校等就学支援金と同様（特別支援学校を除く）

特別支援学校については、「特別支援教育就学奨励費」による支援があります。

年間約3～14万円を支給

学校の種類や世帯の状況によって金額が変わります。

お申し込みは学校またはお住まいの都道府県へ

毎年7月頃に手続きが必要です。

手続き方法は学校またはお住まいの都道府県にお問合せください。

（参考）保護者の年収目安と支援金額

↙ 両方利用できます！

保護者の年収目安	約270万円未満	約270～910万円未満	約910万円以上
高等学校等就学支援金	国公立高校：約12万円 私立高校：約12～30万円		×
高校生等奨学給付金	約3～14万円	×	×

※掲載している年収は4人家族（両親・子供2人）の場合の目安です。家族構成などで目安額は変わります。また、2020年度より支給額等が変更となります。

⚠️ 利用するためにはそれぞれ**申し込み**が必要です。**返還は不要**です。